

同窓生コラムリレー



北芝電機株式会社
茂木 安久

在学時を思い出すと、やはり毎日の部活です。私はテニス部に入り校舎中庭にあるコートで汗を掻いておりました。しかし、テニスというよりは、うさぎ跳びを行った記憶の方があられるかもしれません。コートの周りを毎日5周は当たり前で、多い日には10周・15周の時もありました。

おかげで足の太さと忍耐力が付きました。テニスの成績は一度も勝てず顧問の小形先生には申し訳なかつたと感じたりしております。卒業後は北芝電機に入社しました。仕事は



平成28年度 北芝松工会総会兼新年会

主に、水力発電所の発電機の製造に携わり、東日本を中心に各地の発電所にも行きました。

東日本大震災以降の電力事情は水力・太陽光・風力といった再生可能エネルギーの考えが高まる中、クリーンで安定供給できる水力発電に携わることが出来き誇りに思っています。

話しは変わりますが、北芝電機には同窓会が幾つもあります。その中で最も大きいのが松工会で、現在の会長を務めております。

現在の会員は約70名で社員の約1割を占めており、会社の原動力となっていることを時々感じております。

最後に二本松工業高校同窓会の益々の発展を祈念して本文を閉じさせていただきます。

プロフィール

昭和55年度 機械科卒業（17期）

昭和56年度 北芝電機に入社

回転機部に配属され、主に水力発電所の発電機設計に22年間従事し、その後品証・生産技術・製造の管理職を経て現在は部長に就任し4年目となります。

「社会人として」



株式会社IHI相馬事業所
安田 充樹

私は、社会人になり三年目を迎え、高校生活で学んだことの中で、大きく分けて二つの点で活かしていると感じています。

まず一つ目は、コミュニケーションについてです。会社での生活を円滑に進めるためには、話す相手によつて言葉遣いや話し方を意識しなければいけません。そして、その会社でのコミュニケーションで苦労していない理由の一つとして、高校時代に多くの先生方や、先輩後輩との会話の中で、話し方を学ぶことが出来たからだと思います。

次に、工業高校特有の就職に役立つ資格取得についてです。私は、会社で旋盤という機械を使って仕事をしています。そして、その国家資格普通旋盤作業の一級技能士を21歳で取得しました。21歳で取得できたの

は、高校の課外授業で二級技能士を取らせていただき、その資格で今の会社に就職することが出来たからです。

これからも学んだことを活かし、二本松工業高等学校の卒業生としての誇りを忘れず、会社に貢献出来るように頑張っていきたいと思っております。

プロフィール

平成25年度機械システム科卒業

出身地…大玉村

趣味…カラオケ、スキー

資格…普通旋盤1級技能士、S

AJスキー検定1級

